

宙博 2010 参加報告

2010年10月28日（金）から31日（日）に科学技術館で行なわれた「宙博2010」にスペースランド技術組合として出展しました。

スペースランド技術組合では、ご来場された皆様にビデオなどの映像やパンフレットをご覧いただき組合の取り組みや研究開発しているサービス、製品について説明をさせて頂きました。

また、スペースプレーンのフライトシミュレータは大変盛況でした。未来を担う子どもたちに少しでも宇宙や科学について興味を持っていただけたなら幸いです。



●ご来場された方々から多くの有益な意見が聞かれましたので、以下にまとめました。

(Q1) SLJとはどんなことを行なっているのか。

→カタログで説明させて頂きました。また、現在HPの充実を図っているため詳細はHPを見るように説明いたしました。現状のHPではあまり参考にならなかったが、今回配布されたカタログを見させてもらって勉強になった、という意見もありました。

(Q2) 参加会社は何社くらいか。

→現状5社であるとの回答に、少ないのではとの意見がありました。組合に入りたいと希望している会社は複数社あると回答しました。

(Q3) 衛星関係の仕事を30年以上しているが、このようなことは考えた事もなかった。非常に期待できる取り組みなので頑張ってください。

→同様の意見が学生、若手研究者からも数多く寄せられました。特に若い女性の研究者が30分以上も質問してくれたのが印象に残りました。

(Q4) 取り組み方が逆ではないか。外国で上げたりするのではなく、もっと国内で上げの機運を高めるべきだ。

→貴重なご意見で、3日間対応した中で反対意見はこの1件のみでした。私どもの考えをお話させて頂き、説明の後半には少しはご理解をいただけたと感じております。

(Q5) 衛星の将来性について聞きたい。

→メモを取りながら熱心に聴いてきた若者がいました。30分ほど話をしているうちに、学生でゼミの研究論文をまとめるために関西から来た事がわかりました。専攻は経済学との話でしたが約1時間近くかなり真剣にご質問をいただきました。これまでは、宇宙は理系という風潮がありましたが、いろいろな方に興味を持っていただき、宇宙を私たちの生活にもっと活用できるようにして行きたいと考えています。

(Q6) スペースプレーンについて。

→子供たちが楽しんでいるシミュレータは連日長蛇の列でした。待ち時間もかなりあったので、付き添いのお父さんお母さんにスペースプレーンの話をさせていただきました。米国バージンギャラクティック社 (<http://www.virgingalactic.com/>) のスペースポートアメリカのニュースを知っている人もおり、日米間90分、アジアのハブ・スペースポートなどのキーワードに対し現在のスペースランド技術研究組合の取り組みは理解できるとの声を多くいただきました。国もフットワーク良く動いて欲しいとの意見もありました。

(Q7) ナノラックスについて。

→スペースランド技術研究組合は宇宙ステーションで実験するための設備であるナノラックスの代理店をしています。料金の300万円/600万円について、宇宙関係者からは非常に安いとの評価でした。また宇宙以外の研究者であっても、長期の無重力環境が使えるなら高くないとの感触を持ちました。子供達の付き添いの親子さんの第一印象としては、高額との感じでしたが、全国紙の新聞広告が1億円かかること、米国の高校生がナノラックスを上げる計画があることなどをお話し、PTAなどで提案してもらえればありがたいと思いつつ、地域の行政と協力すれば出来ない金額ではない事を説明しました。



スペースランド技術研究組合
専務理事 三枝 博